

令和 7 年 3 月市議会定例会

上下水道局 議案説明資料 (当初予算分)

目 次

I	令和 7 年度当初予算（案）総括表	1 頁
II	有収水量と料金収入	2 頁
III	水道事業会計	
1	令和 7 年度当初予算（案）総括表	3 頁
2	令和 7 年度建設改良事業	5 頁
IV	工業用水道事業会計	
1	令和 7 年度当初予算（案）総括表	17 頁
2	令和 7 年度建設改良事業	19 頁
V	公共下水道事業会計	
1	令和 7 年度当初予算（案）総括表	21 頁
2	令和 7 年度建設改良事業	23 頁
VI	建設改良事業以外の主な取組	41 頁
VII	債務負担行為の設定について（水道事業会計）	43 頁
VIII	その他	
1	富山市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部を改正する条例制定の件	44 頁

I 令和7年度当初予算(案)総括表

(単位:千円)

			令和7年度①	令和6年度②	差引増減 ①－②	伸率(%)
水道事業会計	収益の収支	事業収益 A	7,639,056	7,547,558	91,498	1.21
		事業費用 B	7,263,451	7,194,802	68,649	0.95
		差引損益(税込) A－B	375,605	352,756	22,849	6.48
		純利益(税抜)	78,243	78,029	214	0.27
	資本の収支	資本の収入 C	3,444,402	3,327,238	117,164	3.52
		資本の支出 D	6,959,663	6,893,430	66,233	0.96
		差引収支(税込) C－D	△ 3,515,261	△ 3,566,192	50,931	1.43

(単位:千円)

			令和7年度①	令和6年度②	差引増減 ①－②	伸率(%)
工業用水道事業会計	収益の収支	事業収益 A	483,907	484,277	△ 370	△ 0.08
		事業費用 B	342,914	374,801	△ 31,887	△ 8.51
		差引損益(税込) A－B	140,993	109,476	31,517	28.79
		純利益(税抜)	138,026	106,789	31,237	29.25
	資本の収支	資本の収入 C	81	17	64	376.47
		資本の支出 D	101,522	116,472	△ 14,950	△ 12.84
		差引収支(税込) C－D	△ 101,441	△ 116,455	15,014	12.89

(単位:千円)

			令和7年度①	令和6年度②	差引増減 ①－②	伸率(%)
公共下水道事業会計	収益の収支	事業収益 A	15,228,862	15,517,416	△ 288,554	△ 1.86
		事業費用 B	14,444,269	14,385,917	58,352	0.41
		差引損益(税込) A－B	784,593	1,131,499	△ 346,906	△ 30.66
		純利益(税抜)	576,599	879,248	△ 302,649	△ 34.42
	資本の収支	資本の収入 C	6,361,548	6,815,734	△ 454,186	△ 6.66
		資本の支出 D	12,616,827	13,690,259	△ 1,073,432	△ 7.84
		差引収支(税込) C－D	△ 6,255,279	△ 6,874,525	619,246	9.01

Ⅱ 有収水量と料金収入

水道の有収水量と料金収入については、人口減少が進行していることに伴い、双方とも年々減少して推移している。

また、下水道の有収水量と使用料収入については、未接続世帯からの新規接続などにより、横ばいの傾向にあったが、水道同様、人口減少が進行していることに伴い、双方とも年々減少して推移している。

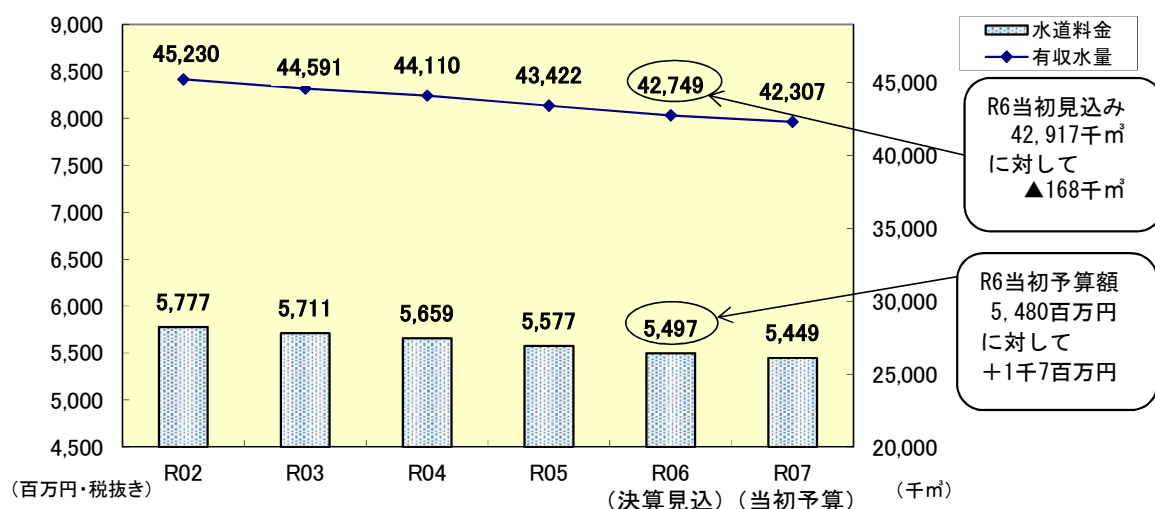
6年度は、10月以降の口座振替割引制度の廃止による増額は見込まれるものの、人口減少の進行により、有収水量及び料金収入ともに前年度を下回るものと見込む。

7年度も、引き続き、人口減少が進行することを想定し、6年度決算見込額に対し、水道料金は△0.88%（2年度比△5.68%）、下水道使用料は△0.92%（2年度比△4.77%）を見込んだ。

◇有収水量と水道料金の推移（令和6年度は決算見込、7年度は当初予算）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有収水量(千 m^3)	45,230	44,591	44,110	43,422	42,749	42,307
対前年度比(%)		98.59	98.92	98.44	98.45	98.97
水道料金(税抜:千円)	5,776,543	5,710,523	5,658,621	5,576,677	5,497,280	5,448,723
対前年度比(%)		98.86	99.09	98.55	98.58	99.12

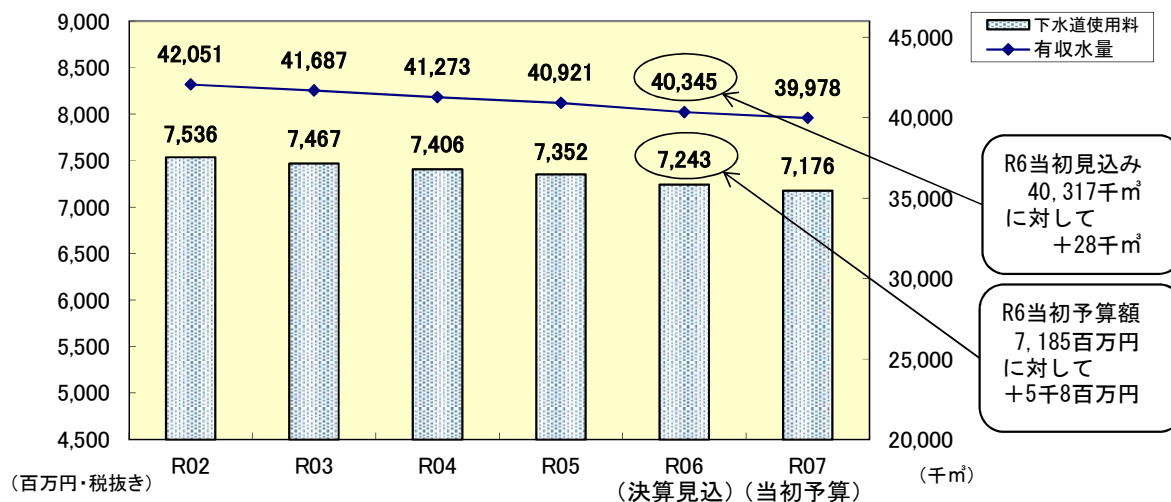
有収水量と水道料金の推移



◇有収水量と下水道使用料の推移（令和6年度は決算見込、7年度は当初予算）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有収水量(千 m^3)	42,051	41,687	41,273	40,921	40,345	39,978
対前年度比(%)		99.13	99.01	99.15	98.59	99.09
下水道使用料(税抜:千円)	7,535,620	7,467,054	7,406,018	7,352,134	7,242,941	7,176,384
対前年度比(%)		99.09	99.18	99.27	98.51	99.08

有収水量と下水道使用料の推移



Ⅲ 水道事業会計

1 令和7年度当初予算（案）総括表

（1）収益的収支

（単位：千円）

科 目	令和7年度 当初予算（案）①	令和6年度 当初予算②	差引増減 （①－②）	伸率 （％）
水道事業収益	7,639,056	7,547,558	91,498	1.21
営業収益	6,589,499	6,504,264	85,235	1.31
給水収益	5,994,090	6,028,224	△ 34,134	△ 0.57
受託工事収益	16,535	10,667	5,868	55.01
受託事業収益	351	338	13	3.85
その他営業収益	578,523	465,035	113,488	24.40
営業外収益	1,043,521	1,037,248	6,273	0.60
※ 受取利息	100	100	0	—
一般会計負担金	21,425	19,192	2,233	11.64
水道加入金	184,672	184,443	229	0.12
長期前受金戻入	834,128	830,328	3,800	0.46
雑収益	3,196	3,185	11	0.35
特別利益	6,036	6,046	△ 10	△ 0.17
固定資産売却益	6,036	6,046	△ 10	△ 0.17
水道事業費	7,263,846	7,194,802	69,044	0.96
営業費用	6,569,778	6,497,651	72,127	1.11
原水及び浄水費	754,363	762,895	△ 8,532	△ 1.12
配水及び給水費	1,131,903	1,018,786	113,117	11.10
受託工事費	31,416	22,845	8,571	37.52
業務費	499,683	493,017	6,666	1.35
総係費	305,119	277,499	27,620	9.95
減価償却費	3,725,117	3,704,523	20,594	0.56
資産減耗費	122,172	218,081	△ 95,909	△ 43.98
その他営業費用	5	5	0	—
営業外費用	682,355	685,177	△ 2,822	△ 0.41
支払利息及び企業債取扱諸費	553,213	541,752	11,461	2.12
消費税及び地方消費税	129,142	143,425	△ 14,283	△ 9.96
特別損失	11,213	11,474	△ 261	△ 2.27
固定資産売却損	13	274	△ 261	△ 95.26
過年度損益修正損	11,200	11,200	0	—
予備費	500	500	0	—
予備費	500	500	0	—
差 引 損 益	375,210	352,756	22,454	6.37

（税抜純利益）

（78,243）

（78,029）

（214）

(2) 資本の収支

(単位：千円)

科 目	令和7年度 当初予算(案)①	令和6年度 当初予算②	差引増減 (①－②)	伸率 (%)
資本の収入	3,448,052	3,327,238	120,814	3.63
企業債	2,984,900	2,718,000	266,900	9.82
企業債	2,984,900	2,718,000	266,900	9.82
他会計出資金	69,045	71,850	△ 2,805	△ 3.90
※ 他会計出資金	69,045	71,850	△ 2,805	△ 3.90
他会計負担金	16,140	9,273	6,867	74.05
他会計負担金	16,140	9,273	6,867	74.05
固定資産売却代金	882	1,946	△ 1,064	△ 54.68
固定資産売却代金	882	1,946	△ 1,064	△ 54.68
国庫補助金	288,883	482,673	△ 193,790	△ 40.15
国庫補助金	288,883	482,673	△ 193,790	△ 40.15
工事負担金	88,202	43,496	44,706	102.78
工事負担金	88,202	43,496	44,706	102.78
資本の支出	6,959,663	6,893,430	66,233	0.96
建設改良費	4,587,387	4,471,464	115,923	2.59
配水施設事務費	210,131	201,752	8,379	4.15
配水施設費	4,136,194	4,000,799	135,395	3.38
設備費	4,059	48,000	△ 43,941	△ 91.54
固定資産購入費	215,534	186,949	28,585	15.29
建設負担金	21,469	31,638	△ 10,169	△ 32.14
スマートメーター関連購入費	0	2,326	△ 2,326	△ 100.00
企業債償還金	2,372,276	2,421,966	△ 49,690	△ 2.05
企業債償還金	2,372,276	2,421,966	△ 49,690	△ 2.05
差 引	△ 3,511,611	△ 3,566,192	54,581	1.53

補 て ん 財 源	3,511,611	3,566,192	△ 54,581	△ 1.53
当年度消費税及び地方消費税資本の収支調整額	359,699	333,938	25,761	7.71
過年度分損益勘定留保資金	1,144,972	1,408,203	△ 263,231	△ 18.69
当年度分損益勘定留保資金	2,006,940	1,824,051	182,889	10.03

〔参考〕

	令和7年度①	令和6年度②	差引(①－②)
※一般会計繰入金	90,470	91,042	△ 572

2 令和7年度 建設改良事業

水道事業会計（建設改良費）	45億8千7百万円	I 水道施設の耐震化		3,167,978千円
		(1)	配水幹線の整備	923,229千円
		(2)	配水管網の整備	194,590千円
		(3)	老朽水道管の整備	1,241,259千円
		(4)	老朽基幹施設の改良	808,900千円
		II 危機管理体制の強化		257,647千円
		(1)	防災拠点機能の整備	232,647千円
		(2)	給水車の追加配備	25,000千円
		III 水源の水質向上		457,754千円
		(1)	配水ブロックの整備	457,754千円
		IV その他		704,008千円
		(1)	他工事関連事業	283,315千円
		(2)	人件費、事務費等	420,693千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名			令和7年度 当初予算 ①	令和6年度 当初予算 ②	比較増減①－②	
水道事業会計（建設改良費）	Ⅰ 水道施設の耐震化		3,167,978	3,385,294	△ 217,316	
	(1) 配水幹線の整備 P9	事業費	923,229	2,183,150	△ 1,259,921	
		概要	・北部幹線 外(更新) L=0.87Km	・北部幹線 外(更新) L=3.83Km ・新水橋幹線(新設) L=0.12Km		
	(2) 配水管網の整備 P9	事業費	194,590	146,305	48,285	
		概要	・管網整備 L=1.44Km	・管網整備 L=1.71Km		
	(3) 老朽水道管の整備 P9	事業費	1,241,259	691,839	549,420	
		概要	・老朽ビニル管等の布設替 L=4.86Km ・老朽添架管の架替 L=0.02Km	・老朽ビニル管等の布設替 L=4.15Km		
	(4) 老朽基幹施設の改良 P11	事業費	808,900	364,000	444,900	
		概要	・上滝中区配水池築造工事 外	・流杉浄水場中央監視設備更新		
	Ⅱ 危機管理体制の強化		257,647	11,600	246,047	
	(1) 防災拠点機能の整備 P13	事業費	232,647	11,600	221,047	
		概要	・防災拠点管路の整備 L=0.86Km	・防災拠点管路の整備 L=0.08Km		
	(2) 給水車の追加配備 P13	事業費	25,000		25,000	
		概要	・給水車の追加配備			
	Ⅲ 水源の水質向上		457,754	522,003	△ 64,249	
	(1) 配水ブロックの整備 P15	事業費	457,754	522,003	△ 64,249	
		概要	・細入配水ブロックの整備 ・八尾配水ブロックの整備	・細入配水ブロックの整備 ・八尾配水ブロックの整備		
	Ⅳ その他		704,008	552,567	151,441	
	(1) 他工事関連事業	事業費	283,315	116,102	167,213	
		概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=1.28Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=1.29Km		
	(2) 人件費、事務費等	事業費	420,693	436,465	△ 15,772	
		概要	・人件費、事務費、固定資産購入費等	・人件費、事務費、固定資産購入費等		
	建設改良費 合計			4,587,387	4,471,464	115,923



分 類		凡 例	数 量	(千円) 当初予算額		
				3 条	4 条	
令和七年度 主 要 事 業	水道施設の耐震化	 (管路整備)	配水幹線の整備	865m	—	923,229
			配水管網の整備	1,440m	—	194,590
			老朽水道管の整備	4,864m	—	1,241,259
			老朽基幹施設の改良	8箇所	—	808,900
		 (拠点整備)		860m	—	232,647
	危機管理体制の強化	 (給水車の追加配備)		1台	—	25,000
		 (水道事業認可申請書) 作成業務委託費	防災拠点機能の整備	一 式	26,000	—
		 (0001年度) 法人可能性検討 業務委託費		一 式	18,920	—
	水源の水質向上		配水ブロックの整備	3,992m 3箇所	—	457,754
	その他の		老朽給水管の整備	13箇所	9,256	—
		他 工 事 関 連	1,277m	134,821	283,315	
		事 務 費	一 式	7,414	23,385	
合 計				196,411	4,190,079	

行政区域
給水区域

余 白

I 水道施設の耐震化

(1) 配水幹線の整備

事業費 923, 229 千円
(うち補助事業 847, 900 千円)

配水幹線は、老朽化に伴う漏水事故が発生していることに加え、大規模地震発生時においても広い範囲に影響を及ぼすことから、配水幹線の更新及び新たな配水幹線網の整備による耐震化を進めることにより、安定給水の確保と耐震化率の向上を図ります。

令和7年度事業の概要

(ア)配水幹線の更新 923, 229千円

- ・ 古沢幹線 田島川水管橋設置工事【R6～R8継続費】 L= 0.02km

継続事業費		(単位:千円)		
	R6年度	R7年度	R8年度	合計
事業費	0	125,300	153,200	278,500

- ・ 古沢幹線 祖母川水管橋設置工事【R6～R8継続費】 L= 0.02km

継続事業費		(単位:千円)		
	R6年度	R7年度	R8年度	合計
事業費	0	99,300	137,200	236,500

- ・ 北部、南部、大沢野、古里幹線 L= 0.87km
- ・ 基本設計業務委託(南部幹線) 一式
- ・ 実施設計業務委託(北部幹線) 一式

(2) 配水管網の整備

事業費 194, 590 千円

大規模地震発生時においても給水を確保するために、新たな配水管整備による配水管のループ化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。
また、新規給水要望に対応するための新たな配水管の整備を図ります。

令和7年度事業の概要

(ア)配水管網の整備 194, 590千円

- ・ 配水管の新設 L= 1.44km

(3) 老朽水道管の整備

事業費 1, 241, 259 千円

老朽水道管について、耐用年数、布設経過年数、漏水事故発生状況等を考慮の上、計画的に更新を進めるとともに、大規模地震発生時においても給水を確保するために耐震化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。

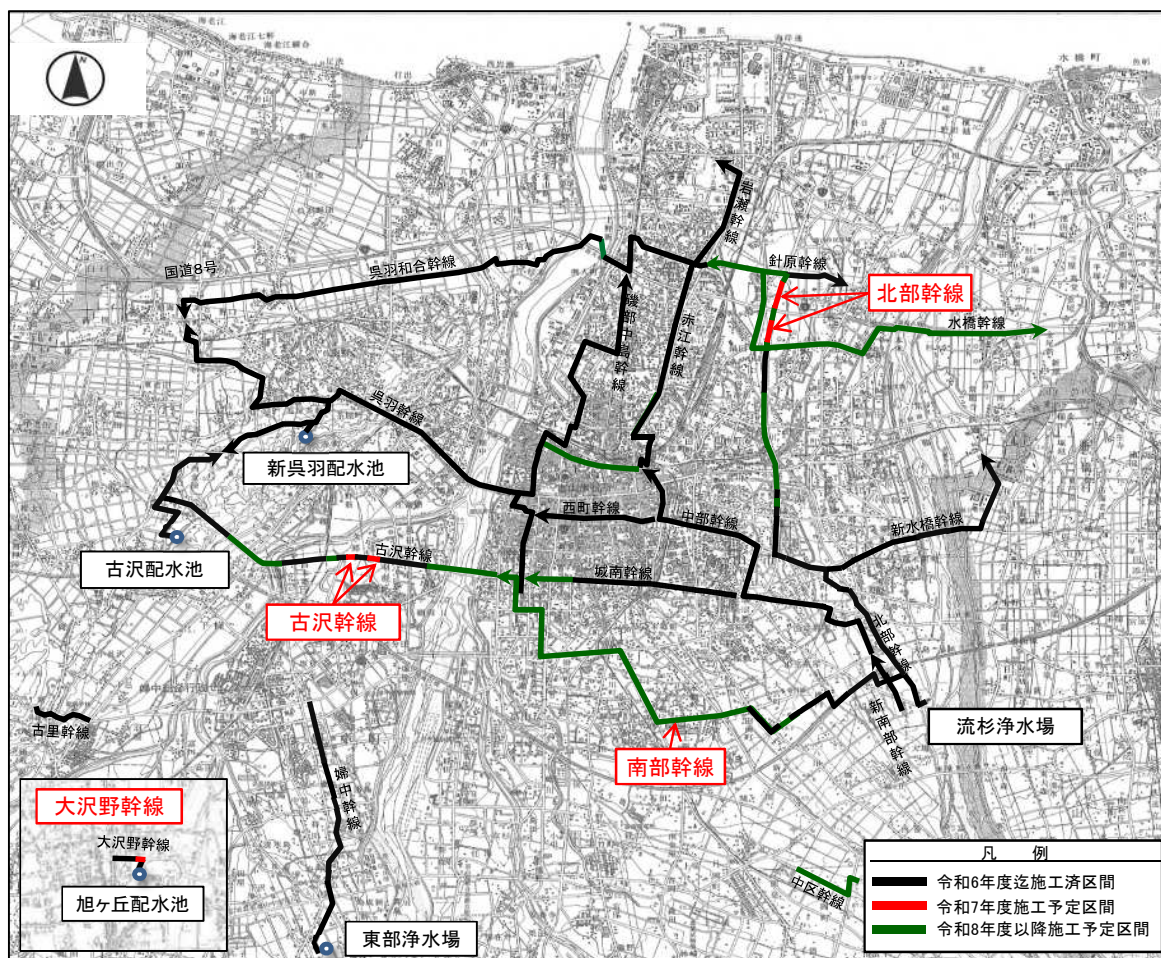
令和7年度事業の概要

(ア)老朽水道管の整備

- ①老朽ビニル管等の布設替 1, 241, 259千円

- ・ 老朽管布設替工事 L=4.86km

配水幹線の整備 箇所図



配水幹線整備の推移

		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョン	耐震管延長(km)	43.0	50.3	55.7	59.7	63.8	69.1	72.2	77.1	82.6	88.5	94.7
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
	耐震化率(%)	42.0%	49.2%	54.4%	58.4%	62.4%	67.5%	70.6%	75.4%	80.7%	86.5%	92.6%
実績及び 実績見込	耐震管延長(km)	41.0	53.1	57.5	60.6	63.8	67.1	71.9	75.3	78.8	79.8	
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	
	耐震化率(%)	40.1%	51.9%	56.2%	59.2%	62.4%	65.6%	70.3%	73.6%	77.0%	78.0%	

配水幹線の施工状況



(4)老朽基幹施設の改良

事業費 808,900 千円

配水池や浄水場などの基幹施設は、その多くが昭和30年代から50年代にかけて建設され、その多くが更新時期を迎えています。

このため、将来の水需要を見極めた基幹施設の再構築とともに、施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強く、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和7年度事業の概要

(ア)老朽基幹施設の更新 808,900千円

- ・ 上滝浄水場(大山地域) 上滝浄水場機械設備工事
【R7～R8継続:1年目】

継続事業費		(単位:千円)	
	R7年度	R8年度	合計
事業費	32,000	48,000	80,000

上滝浄水場電気設備工事
【R7～R8継続:1年目】

継続事業費		(単位:千円)	
	R7年度	R8年度	合計
事業費	89,600	134,400	224,000

- ・ 西上下水道サービスセンター(婦中地域) 中央監視設備更新工事
【R7～R8継続:1年目】

継続事業費		(単位:千円)	
	R7年度	R8年度	合計
事業費	146,300	62,700	209,000

- ・ 上滝浄水場(大山地域) 上滝中区配水池築造工事 一式
場内配管工事 一式
管理棟建築工事 一式
管理棟建築工事監理業務委託 一式
- ・ 下井田新浄水場(八尾地域) 送水施設更新実施設計業務委託 一式
用地測量業務委託 一式
- ・ 小長谷低区配水池(八尾地域) 更新基本設計業務委託 一式
- ・ 道場浄水場(婦中地域) 非常用発電設備更新工事 一式
- ・ 富山市水道施設(全域) 電気設備改良基本設計業務委託 一式

老朽基幹施設の改良 箇所図

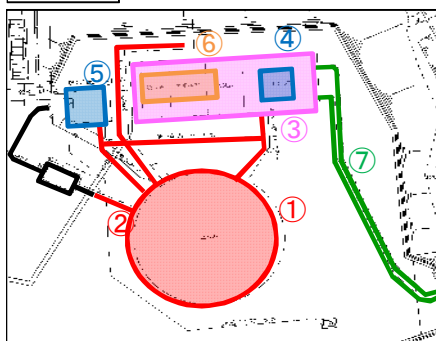
(ア)老朽基幹施設の更新

・上滝中区配水池築造工事

位置図



平面図



①	配水池築造	配水池築造工事
②	配水管φ300	場内配管工事
③	建屋築造	建築工事
④	ポンプ設備	機械設備工事
⑤	減菌設備	
⑥	動力・計装・監視設備	電気設備工事
⑦	送水管・導水管	場内配管工事

スケジュール

工程	実施計画年度			事業費計(千円)
	R6	R7	R8	
土木	新設配水池築造	298,000		377,090
	既設配水池取壊し	33,518		33,518
	既設管路撤去		1,000	1,000
	既設建屋・ポンプ井取壊し		14,000	14,000
	第2、第3、第4水源改修		15,000	15,000
	場内整備		10,000	10,000
	仮設管布設	20,289		20,289
管路	新設管布設	14,000	31,000	56,000
	第2、第3、第4水源配管		29,000	29,000
建築	新設建屋築造(建築、建築設備)		51,000	51,000
	機械設備新設(R7～R8継続費)	8,690	32,000	88,690
機械設備	既設機械設備撤去		3,000	3,000
	電気設備新設(R7～R8継続費)	3,960	89,600	227,960
電気設備	既設電気設備撤去		4,000	4,000
	事業費計(千円)	159,547	501,600	930,547

Ⅱ 危機管理体制の強化

(1) 防災拠点機能の整備

事業費	232, 647 千円
-----	-------------

大規模地震発生時に求められる復旧活動の充実を図るため、配水幹線と避難所等の給水拠点を結ぶ管路(配水支管)の耐震化を優先的に推進するとともに、活動拠点の管理機能を充実させることにより、防災拠点の危機管理機能の強化と充実を図ります。

令和7年度事業の概要

(ア) 防災拠点管路の整備	232, 647千円
・ 給水拠点接続管耐震化工事(富山地域)	L=0.86km

(2) 給水車の追加配備

事業費	25, 000 千円
-----	------------

(うち補助事業 25, 000 千円)

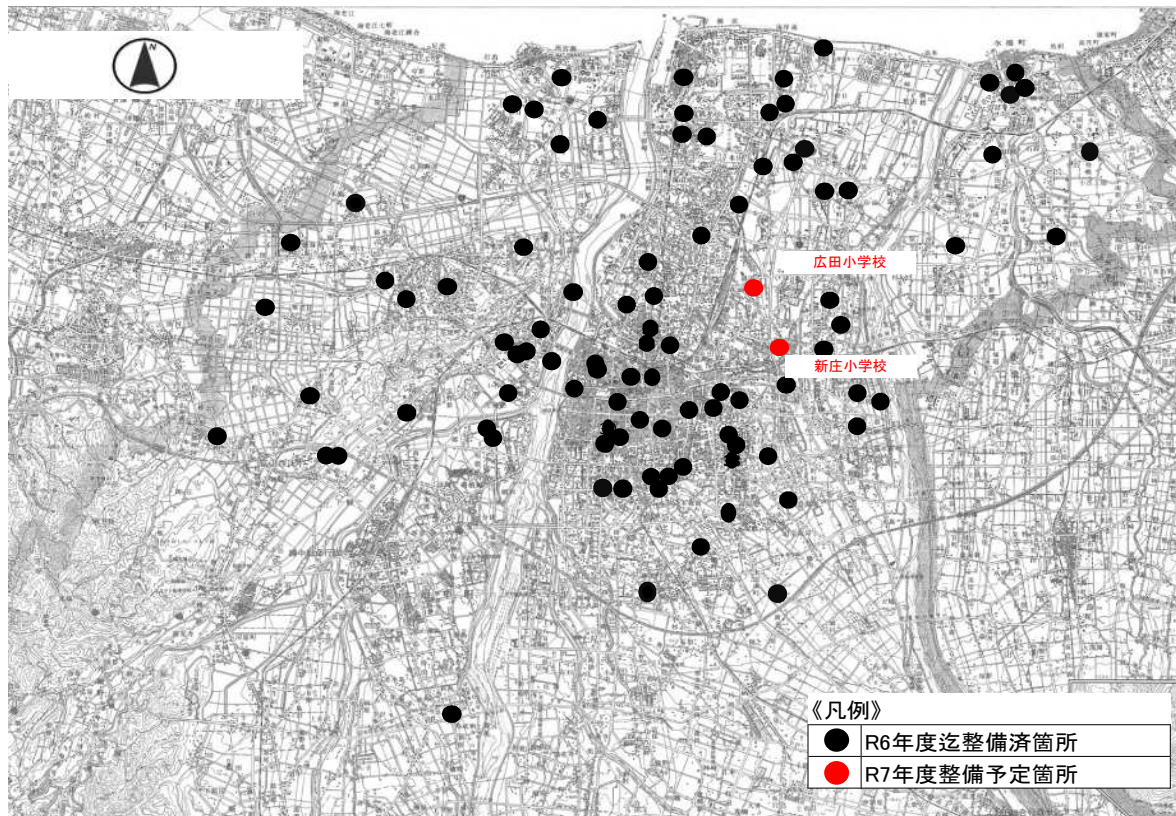
大規模地震発生時に求められる避難所等の給水拠点や医療機関に対して実施する応急給水活動の充実を図るため、加圧給水車を追加配備します。

令和7年度事業の概要

(ア) 給水車の追加配備	25, 000千円
・ 加圧給水車購入(タンク容量1,600リットル)	N=1台

防災拠点機能の整備 箇所図

(ア)防災拠点管路の整備



防災拠点機能整備の推移

		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
第2次 中長期ビジョン	整備箇所数	45	55	68	79	87	89	93	94	95	97
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177
	整備率(%)	25.4%	31.1%	38.4%	44.6%	49.2%	50.3%	52.5%	53.1%	53.7%	54.8%
実績及び 実績見込	整備箇所数	45	55	64	79	86	89	93	94	95	97
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177
	整備率(%)	25.4%	31.1%	36.2%	44.6%	48.6%	50.3%	52.5%	53.1%	53.7%	54.8%

整備計画

令和6年度迄	整備済箇所	95箇所	合計 97箇所
令和7年度	広田小学校	2箇所	
	新庄小学校		



Ⅲ 水源の水質向上

(1)配水ブロックの整備

事業費 **457,754 千円**

浄水方法や配水系統をもとに大別した各配水ブロックのうち、水源の水量不足や水質悪化への対応が必要な配水ブロックについて、浄水施設能力の増強や、隣接ブロックの統合による再構築を計画的に進めることにより、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和7年度事業の概要

(ア)細入配水ブロックの整備		457,754千円
・ 岩稲地区送水管布設工事	L=1.68km	
・ 岩稲地区配水管布設工事	L=0.09km	
・ 楡原接合井場内配管工事	一式	
・ 楡原接合井電気設備工事	一式	
・ 楡原配水池場内配管工事	一式	
(イ)八尾配水ブロックの整備		
・ 三ツ松受水槽用地取得	一式	
・ 三ツ松受水槽用地公共嘱託登記業務委託	一式	
・ 八尾町布谷地区送水管布設工事	L=2.00km	
・ 八尾町布谷地区配水管布設工事	L=0.22km	

IV 工業用水道事業会計

1 令和7年度当初予算（案）総括表

（1）収益の収支

（単位：千円）

科 目		令和7年度 当初予算（案）①	令和6年度 当初予算②	差引増減 （①－②）	伸率 （％）
工業用水道事業収益		483,907	484,277	△ 370	△ 0.08
営業収益		456,706	460,105	△ 3,399	△ 0.74
	給水収益	456,706	456,706	0	—
	受託工事収益	0	3,399	△ 3,399	皆減
営業外収益		27,201	24,172	3,029	12.53
※	受取利息	3,100	200	2,900	1,450.00
	一般会計負担金	480	0	480	—
	長期前受金戻入	22,984	23,335	△ 351	△ 1.50
	雑収益	637	637	0	—
工業用水道事業費		342,914	374,801	△ 31,887	△ 8.51
営業費用		311,137	342,220	△ 31,083	△ 9.08
	取配水費	149,476	157,548	△ 8,072	△ 5.12
	業務費	18,579	36,761	△ 18,182	△ 49.46
	減価償却費	128,379	128,932	△ 553	△ 0.43
	資産減耗費	14,703	15,679	△ 976	△ 6.22
	受託工事費	0	3,300	△ 3,300	皆減
営業外費用		30,595	31,042	△ 447	△ 1.44
	支払利息及び企業債取扱諸費	5,405	6,453	△ 1,048	△ 16.24
	消費税及び地方消費税	25,190	24,589	601	2.44
特別損失		1,082	1,439	△ 357	△ 24.81
	固定資産売却損	1,082	1,439	△ 357	△ 24.81
予備費		100	100	0	—
	予備費	100	100	0	—
差 引 損 益		140,993	109,476	31,517	28.79
(税抜純利益)		(138,026)	(106,789)	(31,237)	

(2) 資本の収支

(単位：千円)

科 目		令和7年度 当初予算(案)①	令和6年度 当初予算②	差引増減 (①－②)	伸率 (%)
資本の収入		81	17	64	376.47
固定資産売却代金		81	17	64	376.47
	固定資産売却代金	81	17	64	376.47
資本の支出		101,522	116,472	△ 14,950	△ 12.84
建設改良費		62,748	61,033	1,715	2.81
	設備費	32,248	30,533	1,715	5.62
	取配水施設費	30,500	30,500	0	—
企業債償還金		38,774	55,439	△ 16,665	△ 30.06
	企業債償還金	38,774	55,439	△ 16,665	△ 30.06
差 引		△ 101,441	△ 116,455	15,014	12.89

補 て ん 財 源	101,441	116,455	△ 15,014	△ 12.89
当年度消費税及び地方消費税資本の収支調整額	5,696	5,545	151	2.72
過年度分損益勘定留保資金	95,745	110,910	△ 15,165	△ 13.67

〔参考〕

	令和7年度①	令和6年度①	差引(①－②)
※一般会計繰入金	480	0	480

2 令和7年度 建設改良事業

工業用水道事業会計（建設改良費）	6千2百万円	I 流杉工業用水道事業		0千円
		(1) 老朽基幹施設の改良		0千円
		II その他		62,748千円
		(1) 他工事関連事業		30,500千円
		(2) 設備費、事務費等		32,248千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

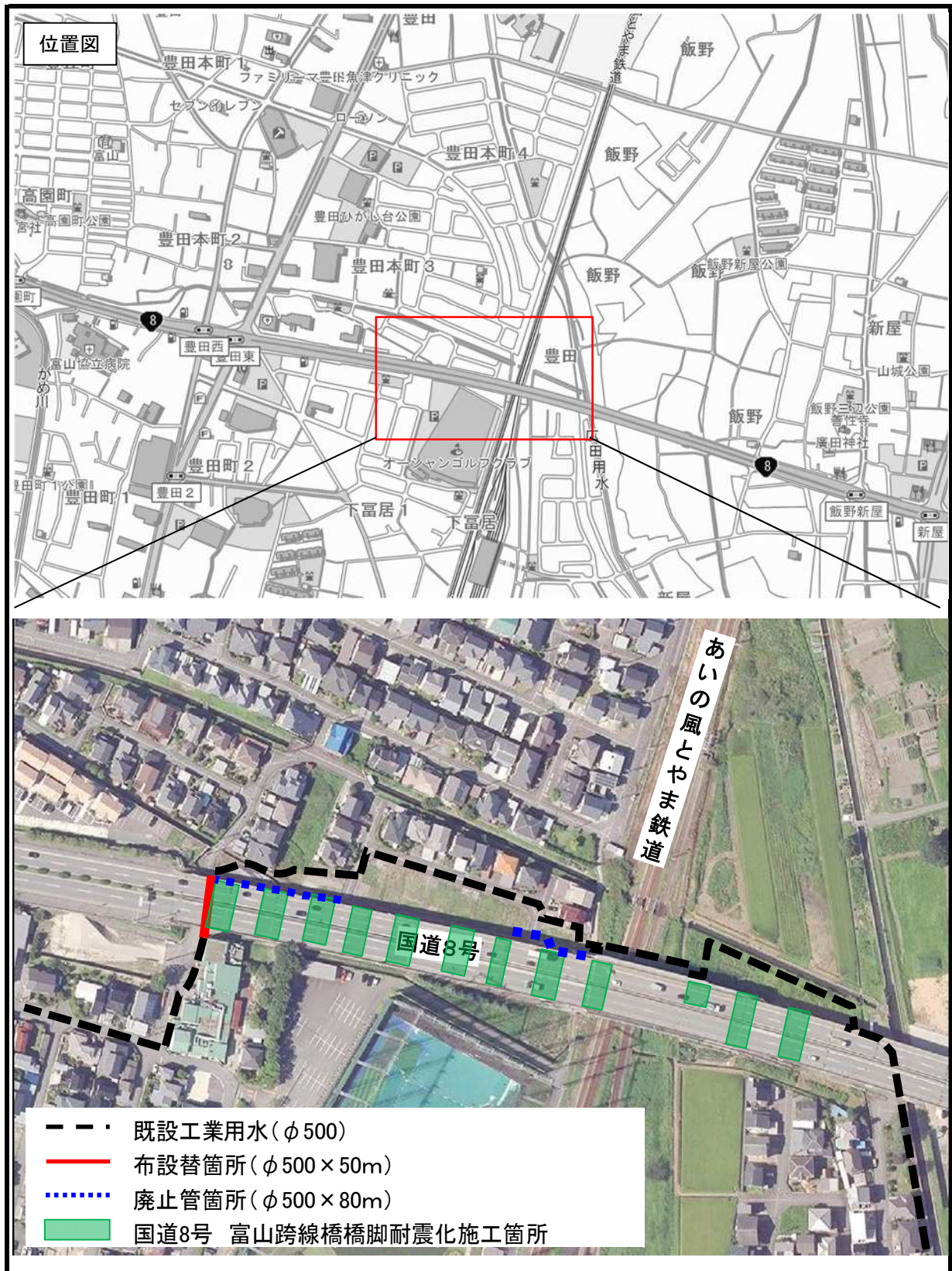
事業名		令和7年度 当初予算 ①	令和6年度 当初予算 ②	比較増減①－②	
工業用水道事業会計（建設改良費）	Ⅰ 流杉工業用水道事業				
	(1) 老朽基幹施設の改良	事業費			
		概 要	_____	_____	
	Ⅱ その他				
	(1) 他工事関連事業	事業費	30,500	30,500	
		概 要	・支障移転に伴う布設替 L=0.05Km	・支障移転に伴う布設替 L=0.05Km	
	(2) 設備費、事務費等	事業費	32,248	30,533	1,715
		概 要			
建設改良費 合計		62,748	61,033	1,715	

Ⅱ その他

(1) 他工事関連事業

事業費 30,500 千円

国道8号豊田新屋立体事業において支障となる配水管の移転に係る工事を実施します。



V 公共下水道事業会計

1 令和7年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位:千円)

科 目	令和7年度 当初予算(案)①	令和6年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
下水道事業収益	15,228,862	15,517,416	△ 288,554	△ 1.86
営業収益	11,274,568	11,514,087	△ 239,519	△ 2.08
※ 下水道収益	7,894,022	7,903,830	△ 9,808	△ 0.12
※ 一般会計負担金	3,002,706	3,224,673	△ 221,967	△ 6.88
受託事業収益	251,869	247,085	4,784	1.94
その他営業収益	125,971	138,499	△ 12,528	△ 9.05
営業外収益	3,954,294	4,002,937	△ 48,643	△ 1.22
※ 受取利息	1,000	100	900	900.00
※ 一般会計負担金	574,747	616,873	△ 42,126	△ 6.83
※ 一般会計補助金	39,492	46,694	△ 7,202	△ 15.42
国庫補助金	15,000	12,000	3,000	25.00
長期前受金戻入	3,317,667	3,321,711	△ 4,044	△ 0.12
雑収益	6,388	5,559	829	14.91
特別利益	0	392	△ 392	皆減
その他特別利益	0	392	△ 392	皆減
下水道事業費	14,444,269	14,385,917	58,352	0.41
営業費用	13,072,459	12,948,995	123,464	0.95
管渠費	231,778	230,014	1,764	0.77
ポンプ場費	414,289	414,901	△ 612	△ 0.15
浜黒崎浄化センター費	1,513,869	1,492,017	21,852	1.46
水橋浄化センター費	168,355	178,853	△ 10,498	△ 5.87
大沢野浄化センター費	156,388	179,096	△ 22,708	△ 12.68
大山処理場費	66,907	68,163	△ 1,256	△ 1.84
小見浄化センター費	13,785	12,972	813	6.27
山田浄化センター費	43,723	48,491	△ 4,768	△ 9.83
楡原浄化センター費	27,417	11,352	16,065	141.52
南部地区浄化センター費	20,069	9,505	10,564	111.14
流域下水道管理費負担金	856,218	832,072	24,146	2.90
水洗化促進費	22,049	21,240	809	3.81
排水設備指導費	39,079	37,178	1,901	5.11
業務費	288,499	291,554	△ 3,055	△ 1.05
総係費	215,434	182,657	32,777	17.94
減価償却費	8,536,151	8,546,942	△ 10,791	△ 0.13
資産減耗費	215,043	151,698	63,345	41.76
地域し尿処理施設費	9,150	9,321	△ 171	△ 1.83
農業集落排水事業費	231,470	228,221	3,249	1.42
林業集落排水事業費	1,686	1,648	38	2.31
富山八尾中核工業団地排水施設管理費	1,100	1,100	0	—
営業外費用	1,354,726	1,419,922	△ 65,196	△ 4.59
支払利息及び企業債取扱諸費	1,110,721	1,217,248	△ 106,527	△ 8.75
消費税及び地方消費税	240,005	199,674	40,331	20.20
雑支出	4,000	3,000	1,000	33.33
特別損失	16,084	16,000	84	0.53
固定資産売却損	84	0	84	皆増
過年度損益修正損	16,000	16,000	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
差 引 損 益	784,593	1,131,499	△ 346,906	△ 30.66
(税抜純利益)	(576,599)	(879,248)	(△ 302,649)	

(2) 資本の収支

(単位:千円)

科 目	令和7年度 当初予算(案)①	令和6年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	6,361,548	6,815,734	△ 454,186	△ 6.66
企業債	2,818,858	2,969,800	△ 150,942	△ 5.08
企業債	2,752,800	2,969,800	△ 217,000	△ 7.31
借換債	66,058	0	66,058	皆増
国庫補助金	1,640,140	1,949,024	△ 308,884	△ 15.85
国庫補助金	1,640,140	1,949,024	△ 308,884	△ 15.85
他会計出資金	1,714,227	1,720,529	△ 6,302	△ 0.37
※ 他会計出資金	1,714,227	1,720,529	△ 6,302	△ 0.37
負担金及び分担金	184,387	172,487	11,900	6.90
工事負担金	91,000	81,200	9,800	12.07
下水道整備負担金	93,387	91,287	2,100	2.30
貸付金返還金	3,861	3,894	△ 33	△ 0.85
貸付金返還金	3,861	3,894	△ 33	△ 0.85
固定資産売却代金	75	0	75	皆増
固定資産売却代金	75	0	75	皆増
資本の支出	12,616,827	13,690,259	△ 1,073,432	△ 7.84
建設改良費	5,036,700	5,649,348	△ 612,648	△ 10.84
公共下水道築造事務費	157,176	150,179	6,997	4.66
公共下水道築造費	3,490,020	4,283,800	△ 793,780	△ 18.53
流域関連公共下水道築造事務費	20,949	17,248	3,701	21.46
流域関連公共下水道築造費	539,000	352,750	186,250	52.80
特定環境保全公共下水道築造事務費	6,432	6,917	△ 485	△ 7.01
特定環境保全公共下水道築造費	146,200	247,200	△ 101,000	△ 40.86
流域関連特定環境保全公共下水道築造事務費	7,561	8,313	△ 752	△ 9.05
流域関連特定環境保全公共下水道築造費	178,000	183,000	△ 5,000	△ 2.73
単独改良費	227,000	190,000	37,000	19.47
受益者負担金徴収事務費	15,051	13,922	1,129	8.11
固定資産購入費	148,511	96,319	52,192	54.19
建設負担金	100,800	99,700	1,100	1.10
企業債償還金	7,573,127	8,033,911	△ 460,784	△ 5.74
企業債償還金	7,507,069	8,033,911	△ 526,842	△ 6.56
企業債償還金(借換債)	66,058	0	66,058	皆増
投資	7,000	7,000	0	—
長期貸付金	7,000	7,000	0	—
差 引	△ 6,255,279	△ 6,874,525	619,246	9.01

補てん財源	6,255,279	6,874,525	△ 619,246	△ 9.01
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	263,380	298,330	△ 34,950	△ 11.72
過年度分損益勘定留保資金	1,907,906	2,129,974	△ 222,068	△ 10.43
当年度分損益勘定留保資金	4,083,993	4,446,221	△ 362,228	△ 8.15

〔参考〕

	令和7年度①	令和6年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	5,331,172	5,609,769	△ 278,597

2 令和7年度 建設改良事業

公共下水道事業会計（建設改良費）

50
億
3
千
6
百
万
円

I 公共下水道（污水）の整備

2,389,400千円

- | | |
|--------------------|-----------|
| （1）下水道施設（管渠）の改築 | 937,500千円 |
| （2）下水道施設（処理場）の改築 | 814,900千円 |
| （3）下水道整備困難地区の解消 | 585,000千円 |
| （4）処理場の統廃合と再編 | 6,000千円 |
| （5）農林水産部による処理場の統廃合 | 46,000千円 |

II 公共下水道（雨水）の整備

1,339,820千円

- | | |
|-----------------|-----------|
| （1）雨水幹線の整備 | 724,520千円 |
| （2）合流式下水道の改善 | 265,300千円 |
| （3）建設部による浸水対策事業 | 350,000千円 |

III 危機管理体制の強化

724,800千円

- | | |
|------------|-----------|
| （1）防災対策の強化 | 724,800千円 |
|------------|-----------|

IV その他

582,680千円

- | | |
|-------------|-----------|
| （1）他工事関連事業 | 227,000千円 |
| （2）人件費、事務費等 | 355,680千円 |

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

施 策 ・ 主 要 事 業 名			令和7年度 当初予算①	令和6年度 当初予算②	比較増減 ①-②
建 設 改 良 費			5,036,700	5,649,348	△ 612,648
人件費、管理部署分除く			4,717,682	5,394,410	△ 676,728
I 公共下水道(汚水)の整備			2,389,400	3,412,800	△ 1,023,400
(1) 下水道施設(管渠)の改築	P25	事業費	937,500	922,900	14,600
		概 要	改築延長L=2.7km(掛尾町、山室、田中町二丁目外)	改築延長L=4.5km(湊入船町、長江新町、上二杉外)	
(2) 下水道施設(処理場)の改築	全体	事業費	814,900	1,833,900	△ 1,019,000
		概 要	設備更新に係る検討支援業務、管理本館建築改修工事、管理本館受電設備外改築工事、第3系列水処理設備改築実施設計業務、No.6汚水ポンプ改築電気設備工事、No.1揚水施設改築工事	設備更新に係る検討支援業務、終末処理場における運転安全管理の適正化に関する調査検討業務、管理本館建築改修工事、管理本館受電設備外改築工事、沈砂池ポンプ棟外スクリーン自動除塵機等実施設計業務、水処理施設外設備改築実施設計業務	△ 203,000
	浜黒崎浄化センター	事業費	408,000	611,000	
		概 要			
	その他 処理場	事業費	211,100	851,200	△ 640,100
		概 要	水橋浄化センター機械棟外設備改築実施設計業務、大沢野浄化センター脱水機棟外受変電設備等改築工事委託、大沢野浄化センター脱水機棟設備外改築工事委託、大沢野浄化センター監視制御設備外改築ストックマネジメント調査・計画策定業務、大山水処理場汚泥脱水機設備外改築工事委託、大山水処理場塩素混和池改築ストックマネジメント調査・計画策定業務	大沢野浄化センター脱水機棟外受変電設備等改築工事委託、大沢野浄化センター塩素混和池機械設備改築工事委託、大沢野浄化センター脱水機棟設備外改築工事委託、大山水処理場汚泥脱水機設備外改築工事委託、大山水処理場管理棟外設備改築工事委託、大山水処理場管理棟外監視制御設備等改築実施設計業務、大山水処理場塩素消毒施設改築ストックマネジメント調査・計画策定業務、山田浄化センター水処理施設外改築ストックマネジメント調査・計画策定業務	
	ポンプ場	事業費	95,000	272,000	△ 177,000
		概 要	岩瀬汚水中継ポンプ場沈砂池設備改築工事委託、岩瀬汚水中継ポンプ場沈砂池防食塗装工事委託	岩瀬汚水中継ポンプ場沈砂池設備改築工事委託、岩瀬汚水中継ポンプ場沈砂池電気設備改築工事委託、岩瀬汚水中継ポンプ場沈砂池防食塗装工事委託、神通町雨水ポンプ場ポンプ設備改築実施設計業務	
	P27 神左流域下水道建設負担金		100,800	99,700	1,100
			585,000	522,000	63,000
(3) 下水道整備困難地区の解消	P34	事業費			
		概 要	新設延長L=2,200m 公共樹設置(婦中、八尾、大沢野地域)	新設延長L=2,640m 公共樹設置(婦中、八尾、大沢野地域)	
(4) 処理場の統廃合と再編	P34	事業費	6,000	0	6,000
		概 要	浜黒崎処理区下水道法事業計画変更策定業務委託		
(5) 農林水産部による処理場の統廃合	P34	事業費	46,000	134,000	△ 88,000
		概 要	下条処理分区水橋石政地区汚水中継ポンプ所築造工事、下条処理分区水橋石政外地区舗装復旧工事	熊野処理分区島田地区舗装復旧工事、下条処理分区水橋石政外地区管渠築造工事	
II 公共下水道(雨水)の整備			1,339,820	1,154,600	185,220
(1) 雨水幹線の整備	P35	事業費	724,520	556,000	168,520
		概 要	本郷第一排水区本郷第5雨水幹線築造工事、本郷第一排水区本郷第5雨水幹線排水ポンプ設備工事、新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池公園復旧工事、新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池付帯工事	本郷第一排水区本郷第5雨水幹線築造工事、新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池築造工事、新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池排水ポンプ設備工事	
(2) 合流式下水道の改善	P36	事業費	265,300	296,600	△ 31,300
		概 要	浸水対策工事 L=730m	浸水対策工事 L=660m	
(3) 建設部による浸水対策事業	P36	事業費	350,000	302,000	48,000
		概 要	下富居排水区下富居貯留池導水管、バイパス管築造工事	下富居排水区下富居貯留池付帯構造物実施設計業務	
III 危機管理体制の強化			724,800	599,050	125,750
(1) 防災対策の強化	P38	事業費	724,800	599,050	125,750
		概 要	耐震化工事 耐震診断業務 マンホールトイレ設置工事 耐水化基本設計	耐震化工事 耐震診断業務 マンホールトイレ設置工事 耐水化基本設計	
IV その他			582,680	482,898	99,782
(1) 他工事関連事業		事業費	227,000	190,000	37,000
		概 要	物件移転補償に伴う布設替	物件移転補償に伴う布設替	
(2) 人件費、事務費等		事業費	355,680	292,898	62,782
		概 要	人件費、事務費、固定資産購入費等	人件費、事務費、固定資産購入費等	

公共下水道事業会計(建設改良費)

I 公共下水道(汚水)の整備

(1) 下水道施設(管渠)の改築

事業費	937,500 千円
(うち補助事業)	637,000 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理場へ流すために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めます。

令和7年度事業の概要

(ア)下水道管の改築

	R5年度(実績)	R6年度(見込)	R7年度
調査・計画延長	約42km	約50km	約20km
改築工事延長	2.8km	4.3km	2.7km

①調査・計画

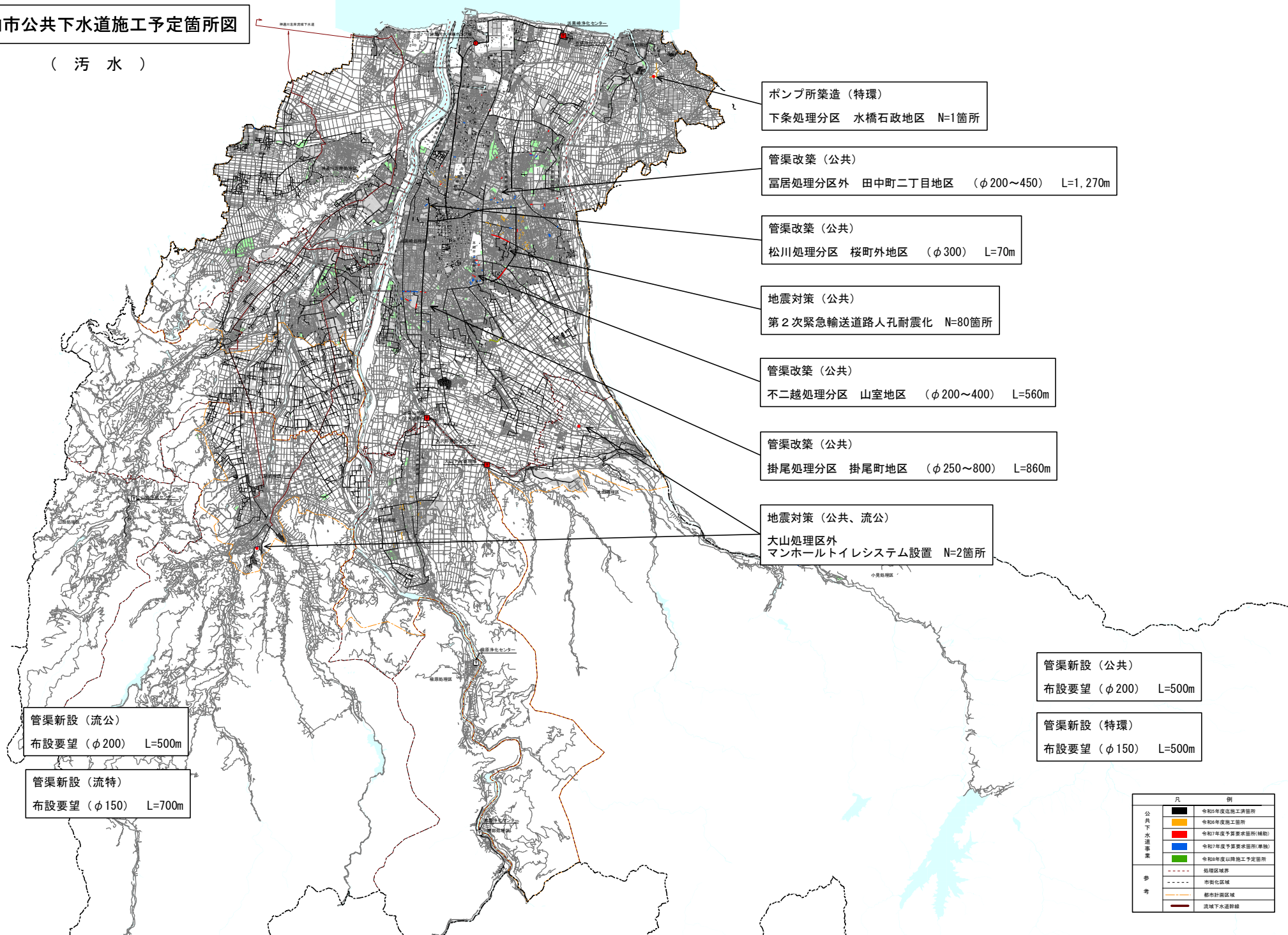
富山市下水道ストックマネジメント計画に基づき、浜黒崎処理区外の管渠を対象に調査を実施。

②改築工事

令和6年度に引き続き、掛尾処理分区、不二越処理分区、富居処理分区外を対象に老朽化が著しく、改築の優先度が高い管の改築工事を実施。

富山市公共下水道施工予定箇所図

(汚 水)



(2) 下水道施設(処理場)の改築

事業費	814,900 千円
(うち補助事業)	638,460 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理するため、施設の老朽度や将来の処理量を勘案しながら、計画的に施設の改築や増設を行います。

令和7年度事業の概要

(ア)下水処理場の改築 719,900 千円

① 浜黒崎浄化センター 408,000 千円

・管理本館受変電設備外改築工事(継続 R5～R7:3年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	110,000	241,000	74,000	425,000

- ・管理本館建築改修工事
- ・No.6汚水ポンプ改築電気設備工事
- ・No.1揚水施設改築工事
- ・設備更新に係る検討支援業務委託
- ・第3系列水処理設備改築実施設計業務委託

② 水橋浄化センター 52,000 千円

- ・機械棟外設備改築実施設計業務委託

③ 大沢野浄化センター 115,300 千円

・脱水機棟設備外改築工事委託(継続 R5～R7:3年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	64,000	136,000	15,000	215,000

・脱水機棟外受変電設備等改築工事委託(継続 R6～R8:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R6年度	R7年度	R8年度	合計
事業費	28,100	89,300	279,200	396,600

- ・監視制御設備外改築ストックマネジメント調査・計画策定業務委託

④ 大山水処理場

43,800 千円

・汚泥脱水機設備外改築工事委託(継続 R5～R7:3年目)

継続事業費

(単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	81,000	398,200	30,800	510,000

・塩素混和池改築ストックマネジメント調査・計画策定業務委託

(イ)ポンプ場の改築

95,000 千円

① 岩瀬污水中継ポンプ場

95,000 千円

・沈砂池設備改築工事委託(継続 R5～R7:3年目)

継続事業費

(単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	29,000	216,000	85,000	330,000

・沈砂池防食塗装工事委託(継続 R5～R7:3年目)

継続事業費

(単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	7,000	17,000	10,000	34,000

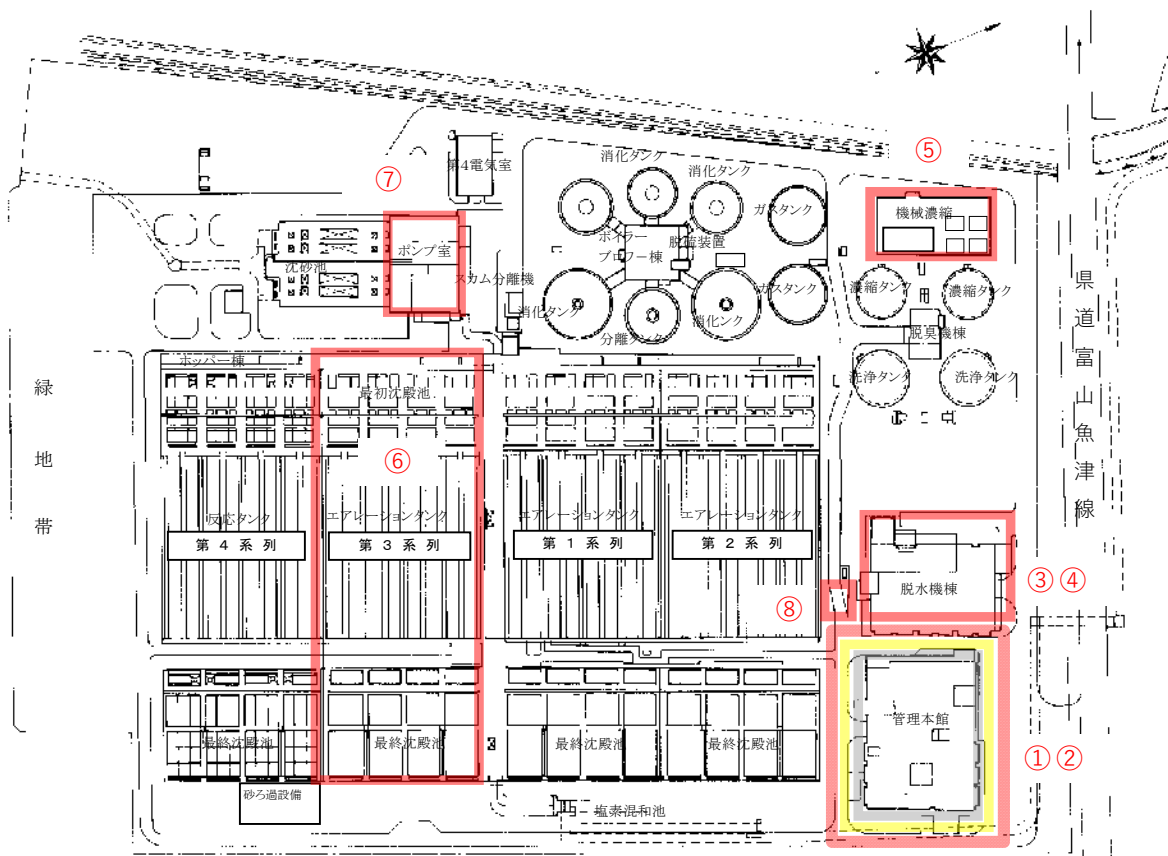
(ウ)神通川左岸流域下水道建設負担金

100,800 千円

・幹線管渠耐震化工事

・神通川左岸浄化センター 水処理設備更新工事外

(ア) ① 浜黒崎浄化センター



(管理本館)

- ②受変電設備外改築工事(R5,R6,R7継続)

(脱水機棟)

- ③脱水機棟耐震診断（非線形）【事業団】
④耐水化基本設計【事業団】

(機械濃縮棟)

- ⑤耐震診断【事業団】

(水処理施設)

- ### ⑥第3系列水処理設備改築実施設計

(ポンプ棟)

- ⑦No.6汚水ポンプ改築電気設備工事

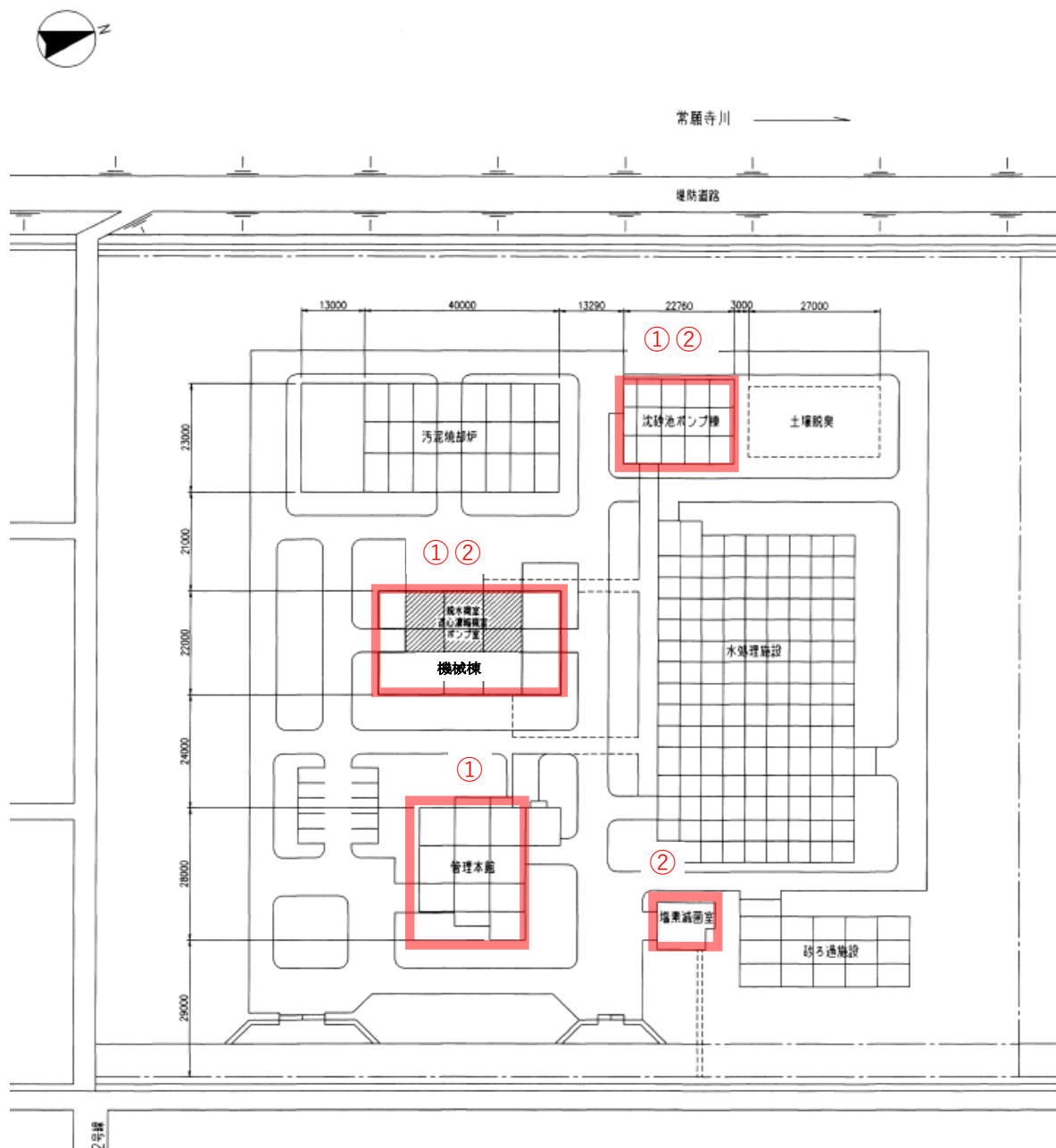
(揚水施設)

- ⑧No.1揚水施設改築工事

下水道工事建設資材価格調査

凡 例	
	令和5年度までに施工済み箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度施工予定箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度以降施工予定箇所

(ア) -② 水橋浄化センター

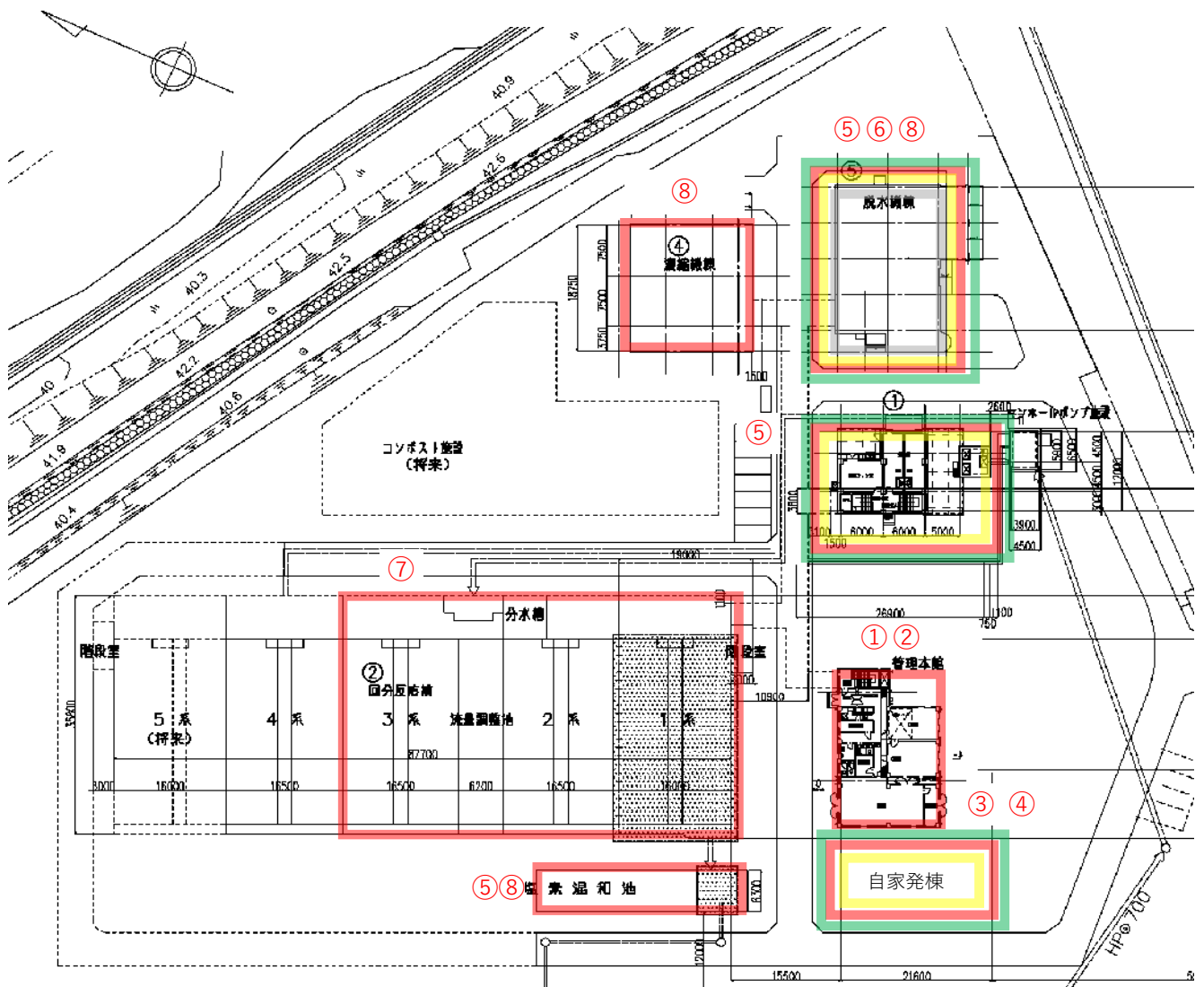


(機械棟)

- ①機械棟外設備改築実施設計【事業団】
- ②機械棟外耐水化実施設計【事業団】

凡 例	
	令和5年度までに施工済み箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度施工予定箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度以降施工予定箇所

(ア) -③ 大沢野浄化センター



(管理本館)

①耐水化実施設計【事業団】

②監視制御設備外改築ストックマネジメント調査・計画策定業務【事業団】

(自家発電棟)

③建築新設工事委託【事業団】(R6,R7継続)

④電気設備新設工事委託【事業団】(R6,R7,R8継続)

(脱水機棟)

⑤脱水機棟外受変電設備等改築工事委託【事業団】(R6,R7,R8継続)

⑥脱水機棟設備外改築工事委託【事業団】(R5,R6,R7継続)

(水処理施設)

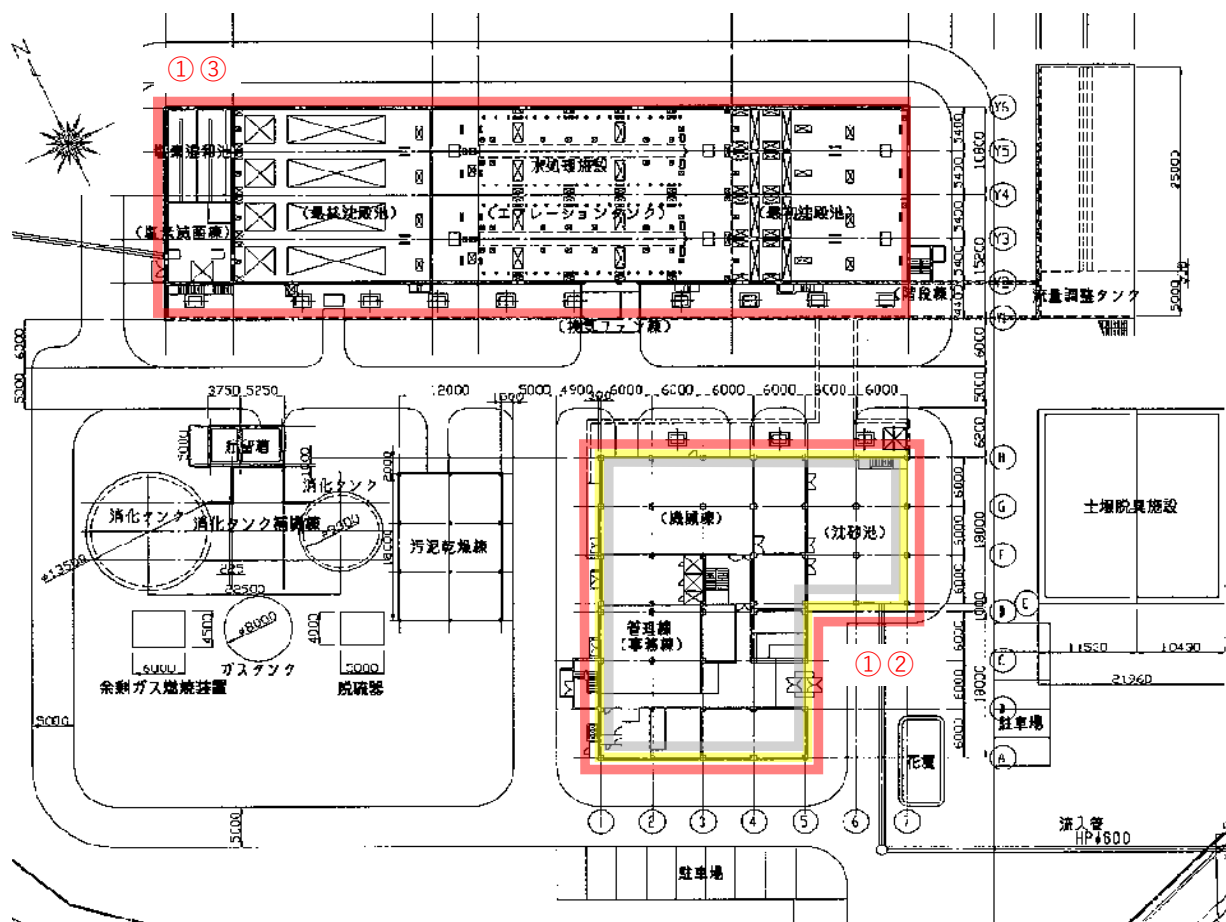
⑦流量調整池外耐震診断(非線形)【事業団】

(塩素混和池)

⑧塩素混和池外耐水化基本設計【事業団】

凡 例	
	令和5年度までに施工済み箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度施工予定箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度以降施工予定箇所

(ア) -④ 大山下水处理場



(管理棟)

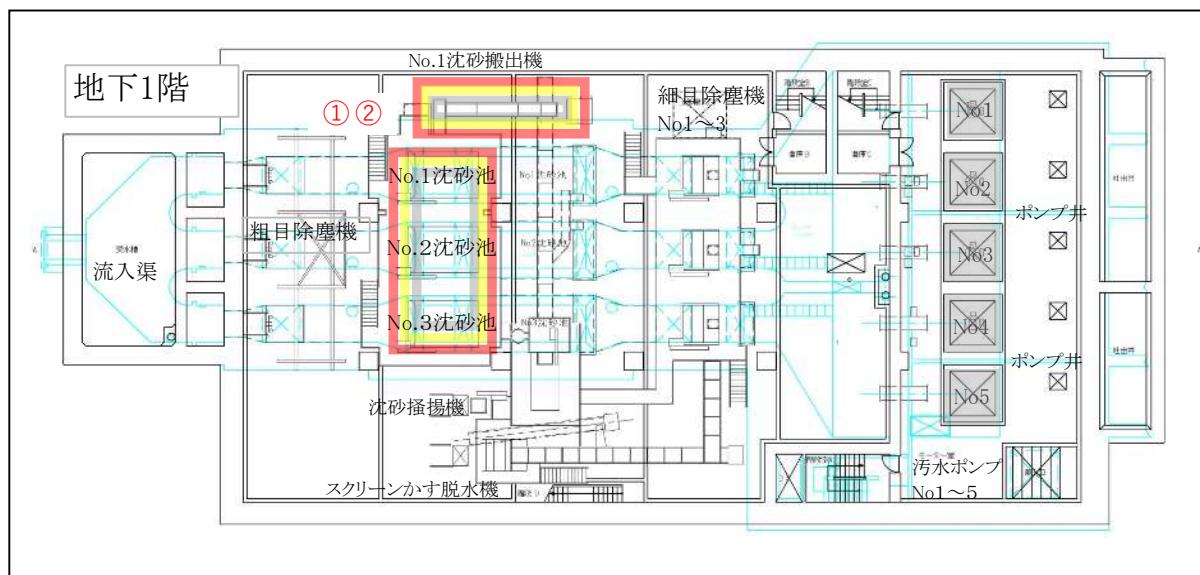
- ①管理棟外耐水化基本設計【事業団】
- ②汚泥脱水設備外改築工事委託【事業団】(R5,R6,R7継続)

(塩素滅菌棟)

- ③塩素混和池改築ストックマネジメント調査・計画策定業務【事業団】

凡 例	
	令和5年度までに施工済み箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度施工予定箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度以降施工予定箇所

(イ) -① 岩瀬污水中継ポンプ場



(沈砂池)

- ①沈砂池設備改築工事委託【事業団】 (R5,R6,R7継続)
- ②沈砂池防食塗装工事委託【事業団】 (R5,R6,R7継続)

凡 例	
	令和5年度までに施工済み箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度施工予定箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度以降施工予定箇所

(3) 下水道整備困難地区の解消

事業費	585,000 千円
(うち補助事業)	34,000 千円)

生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、整備困難地区の解消や開発等に伴う新たな下水道の整備を計画的に行います。

令和7年度事業の概要

(ア)未整備・整備困難地区の解消

- ・布設要望地区下水管布設工事 2,200m
- ・呉羽第一処理分区茶屋町地区舗装復旧工事
- ・本郷処理分区布市新町地区管渠実施設計業務委託
- ・呉羽第三処理分区茶屋町地区管渠実施設計業務委託

(4) 処理場の統廃合と再編

事業費	6,000 千円
(うち補助事業)	0 千円)

将来にわたり安定的なサービスを提供していくため、地域し尿処理施設の公共下水道への接続を進めます。

令和7年度事業の概要

(ア)処理場の統廃合

- ・浜黒崎処理区下水道法事業計画変更策定業務委託(新保地区)

(5) 農林水産部による処理場の統廃合

事業費	46,000 千円
(うち補助事業)	46,000 千円)

将来にわたり安定的なサービスを提供していくため、農業集落污水处理施設の公共下水道への接続を進めます。

令和7年度事業の概要

(ア)処理場の統廃合

- ・下条処理分区水橋石政外地区污水中継ポンプ所築造工事
- ・下条処理分区水橋石政外地区舗装復旧工事

Ⅱ 公共下水道(雨水)の整備

(1) 雨水幹線の整備

事業費	724,520 千円
(うち補助事業)	701,900 千円)

浸水の危険性・浸水対策の効果等を整理し、計画的に雨水幹線等を整備することにより、浸水被害の低減を図ります。

令和7年度事業の概要

(ア)雨水幹線等の整備

	R5年度(実績)	R6年度(見込)	R7年度
管渠施工延長	79m	269m	330m
貯留施設整備数	0箇所	0箇所	1箇所
整備面積	3ha	12ha	52ha
都市浸水対策達成率	77.6%	77.7%	78.4%

※ 都市浸水対策達成率:大雨に対して安全である地区の面積の割合

①雨水管渠

- ・本郷第一排水区本郷第5雨水幹線築造工事(継続R5～R7:3年目)
R5～R7施工延長 530m

継続事業費

(単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	270,000	340,000	341,000	951,000

- ・本郷第一排水区本郷第5雨水幹線排水ポンプ設備工事

②雨水貯留施設

- ・新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池公園復旧工事
- ・新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池付帯工事

(2) 合流式下水道の改善

事業費	265,300 千円
(うち補助事業)	106,500 千円)

合流式下水道区域の浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的とした管渠等の改築を計画的に行います。

令和7年度事業の概要

(ア)合流式下水道の改善

① 浸水対策 258,300 千円

	R5年度(実績)	R6年度(見込)	R7年度
浸水対策 工事延長	606m	402m	730m

- ・松川第一排水区桜町地区浸水対策工事 140m
- ・松川第二排水区星井町地区浸水対策工事 590m

② 水質調査 7,000 千円

合流式下水道雨天時放流水現況調査業務

(3) 建設部による浸水対策事業

事業費	350,000 千円
(うち補助事業)	350,000 千円)

下水道事業を活用した浸水対策事業を行うことにより、早期に浸水被害の低減を図ります。

令和7年度事業の概要

(ア)建設部による浸水対策事業

① 浸水対策 350,000 千円

- ・下富居排水区下富居貯留池導水管、バイパス管築造工事(継続R7～R8:1年目)
 - 導水管 250m
 - バイパス管 70m

継続事業費 (単位:千円)

	R7年度	R8年度	合計
事業費	340,000	337,000	677,000

- ・移設補償費及び資材価格調査

富山市公共下水道施工予定箇所図

(雨 水)

雨水貯留施設
新鍛冶川排水区
呉羽苑貯留池付帯工外 V=1,200m³

雨水管渠（改築）
速星排水区
笹倉雨水幹線 L=110m

雨水貯留施設
下富居排水区
下富居貯留池 導水管築造工事 L=250m
バイパス管築造工事 L=70m

雨水管渠
松川第一排水区
桜町地区 浸水対策 φ300～350 L=140m

雨水管渠
松川第二排水区
星井町地区 浸水対策 φ300～500 L=590m

雨水管渠
本郷第一排水区
本郷第5雨水幹線 φ1,650 L=530m
排水ポンプ設備 N=2基

凡	例
	令和5年度施工箇所
	令和6年度施工箇所
	令和7年度予算要求箇所(補助)
	令和7年度予算要求箇所(単独)
	令和8年度以降施工予定箇所
	認可区域
	市街化区域
	都市計画区域
	下水道雨水対策対象地域
	排水区域

Ⅲ 危機管理体制の強化

(1) 防災対策の強化

事業費	724,800 千円
(うち補助事業)	724,800 千円)

自然災害や事故などの危機発生に対して、迅速かつ的確に対応していくため、危機管理体制を整備し、被害の防止及び軽減を目指します。防災対策の強化として、地震時及び洪水時における下水道施設の被害を軽減するため、下水道施設の耐震化や耐水化を行います。

令和7年度事業の概要

(ア) 下水道施設の耐震化 576,700 千円

- ・大沢野浄化センター自家発棟建築新設工事委託(継続R6～R7:2年目)
継続事業費 (単位:千円)

	R6年度	R7年度	合計
事業費	35,900	143,000	178,900

- ・大沢野浄化センター自家発棟電気設備新設工事委託(継続R6～R8:2年目)
継続事業費 (単位:千円)

	R6年度	R7年度	R8年度	合計
事業費	2,300	36,000	92,000	130,300

- ・松川処理分区新桜町地区地震対策管路施設実施設計業務委託
- ・下水道幹線管路施設耐震化診断業務委託
- ・雨水管路施設耐震化診断業務委託
- ・第2次緊急輸送道路マンホール耐震化工事 80箇所
- ・マンホールトイレ設置実施設計業務、工事
- ・松川第一排水区外新桜町雨水幹線外地震対策実施設計業務委託
- ・浜黒崎浄化センター脱水機棟外耐震診断業務委託
- ・浜黒崎浄化センター機械濃縮棟耐震診断業務委託
- ・大沢野浄化センター流量調整池外耐震診断業務委託
- ・牛島雨水排水ポンプ場耐震診断業務委託

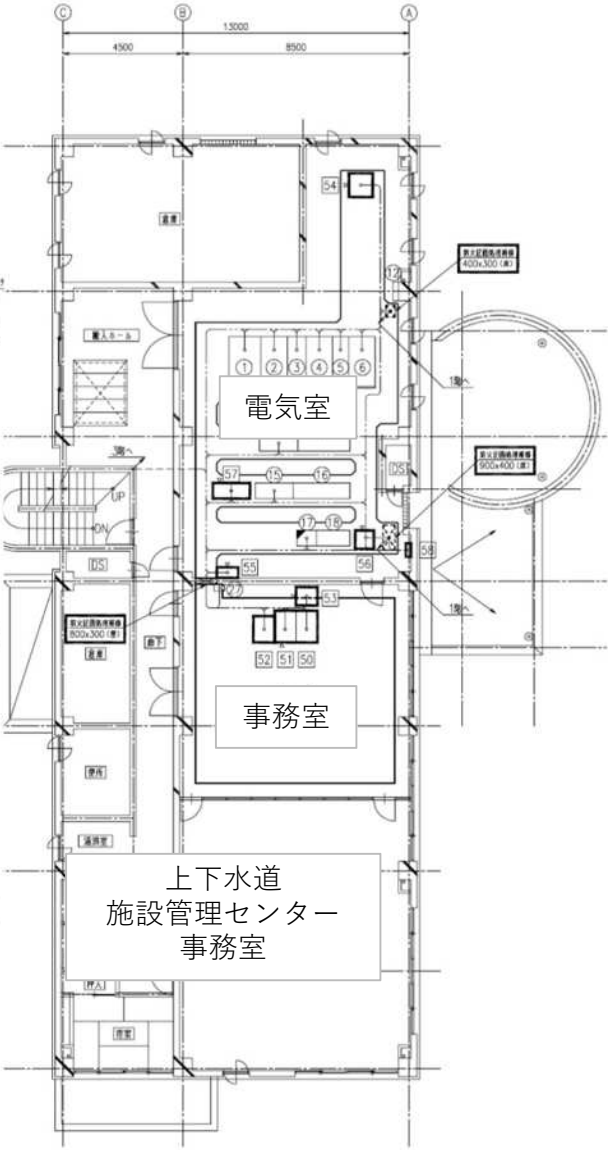
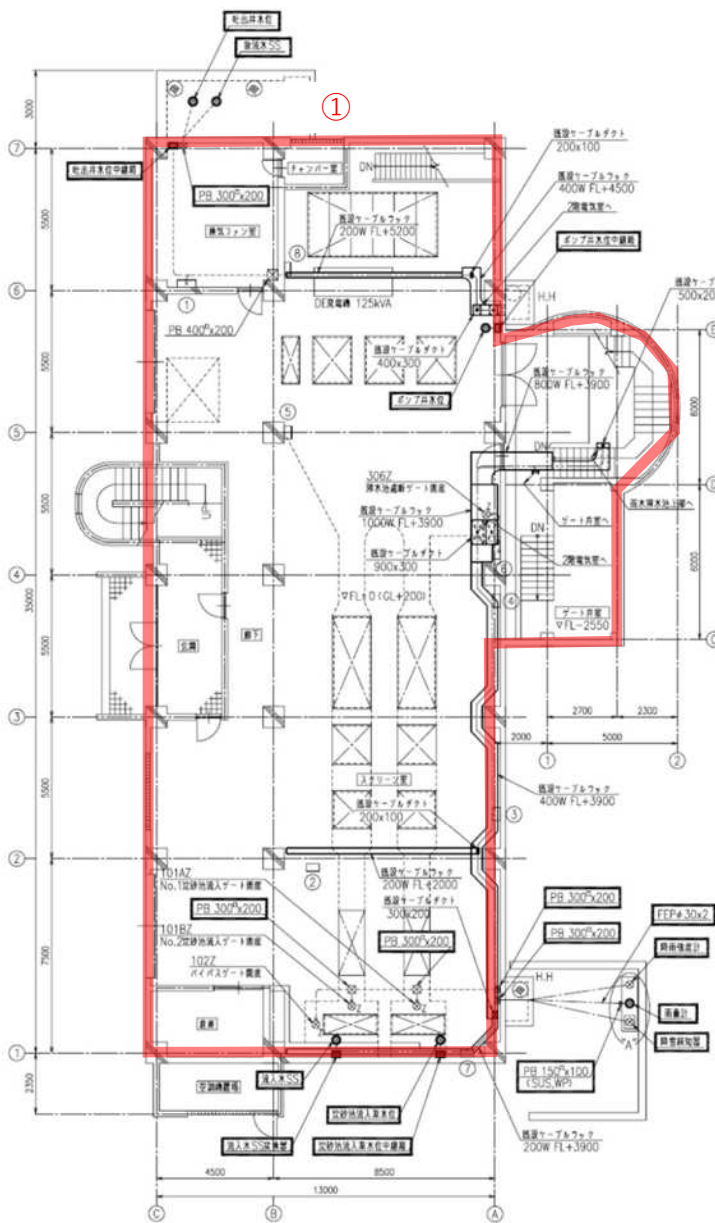
(イ) 下水道施設の耐水化 148,100 千円

- ・浜黒崎浄化センター脱水機棟耐水化基本設計業務委託
- ・水橋浄化センター機械棟外耐水化実施設計業務委託
- ・大沢野浄化センター管理本館耐水化実施設計業務委託
- ・大沢野浄化センター塩素混和池外耐水化基本設計業務委託
- ・大山水処理場管理棟外耐水化基本設計業務委託
- ・七軒町排水ポンプ所耐水化基本設計業務委託

牛島雨水排水ポンプ場

1 階平面図

2 階平面図

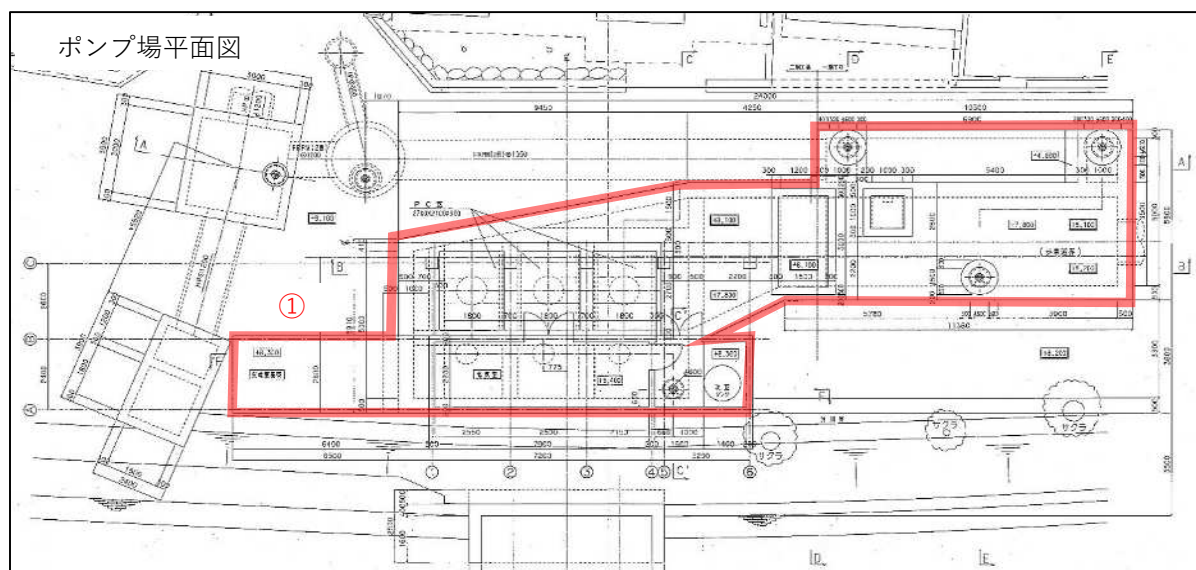


(ポンプ場)
①耐震診断(非線形)【事業団】

凡 例

	令和5年度までに施工済み箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度施工予定箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度以降施工予定箇所

七軒町排水ポンプ所



(ポンプ場)

①耐水化基本設計【事業団】

凡 例	
	令和5年度までに施工済み箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度施工予定箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度以降施工予定箇所

VI 建設改良事業以外の主な取組

(1) 情報発信の強化 事業費 2,180千円

ア 広報誌の発行 2,080千円

上下水道事業の状況や取組を広く市民に知っていただくため、上下水道局独自の広報誌を発行（2,000部×3回）。

広報誌は、公共施設や関係機関に配布するとともに市HPに掲載予定。

イ 各種イベントにおける情報発信 100千円

水道週間（6/1～6/7）、下水道の日（9/10）、SDGsウィーク（1～2月頃）などの各種イベントに合わせ市役所多目的コーナーなどを活用した上下水道事業に関する情報発信企画を実施。

(2) 技術継承・人材育成の強化 事業費 400千円

上下水道局独自の人材育成計画に基づき、上下水道事業に必要となる技術者及び企業会計職員、公務員としての研修等を実施し、技術継承、人材育成に取り組む。

・研修項目（案）

災害（応援）対応、企業会計の仕組み、上下水道工事における施工管理

公務員倫理

(3) 経営改善、経営基盤強化

事業費 1, 689千円

ア 上下水道事業経営審議会

589千円

健全な事業経営を安定的に実現していくため、条例に基づく第三者機関である審議会において経営全般に関する事項について審議する。

委員構成 会 長 一橋大学大学院 辻 教授

会長職務代理者 富山大学 森口 経済学部長

他 学識経験者3名、関係団体5名、公募委員1名 の計11名

イ 経営アドバイザー

1, 100千円

上下水道事業の経営上の課題、解決策などについて公認会計士にアドバイスを受けて経営改善に取り組む。

Ⅶ 債務負担行為の設定について（水道事業会計）

（１）概要

平成７年度の導入から約３０年を経過し、改修が困難となっている水道総合オンラインシステムについては、本庁基幹システムの標準化（クラウド化）に合わせ、令和１０年１月までにクラウド化による新システムへの更改が必要となっている。

そこで、新システムの設計・開発に３ヶ年度の期間を要することから、令和７年度中に契約を締結し、新システムの構築を進めるための債務負担行為を設定するもの。

※新システムの構築に当たり、国土交通省の補助「上下水道 DX 推進事業（補助率１／２）」を活用する。

（２）債務負担行為の内容

（単位：千円）

事 項	限度額	６年度末までの 支払義務発生（見込）額		７年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源 内訳	
		期 間	金 額	期 間	金 額	国庫支出金	その他
上下水道料金システム 構築事業費 （令和７年度分）	376,000			令和７年度 ～ 令和９年度	376,000	188,000	188,000

（３）今後のスケジュール（予 定）

令和７年４月～７月	公募・業者選定
令和７年９月	契約締結
令和７年９月～令和９年１２月	設計・開発
令和１０年１月	新システム稼働

〔参 考〕

作業内容	令和７年度				令和８年度				令和９年度			
	４～６月	７～９月	１０～１２月	１～３月	４～６月	７～９月	１０～１２月	１～３月	４～６月	７～９月	１０～１２月	１～３月
公募・業者選定	→											
契約締結		→										
要件定義・設計		→	→	→	→							
開発					→	→	→	→				
各種テスト					→	→	→	→	→	→	→	→
データ移行		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
本稼働												→

VIII その他

1 富山市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部を改正する条例制定の件

(1) 趣旨

水道法（以下「法」という。）では、水道事業者は、水道布設工事監督者（法第12条）及び水道技術管理者（法第19条）を置かなければならないとされ、またその資格要件は、政令で定める資格を参酌して当該地方公共団体の条例で定めることとされている。

このたび、水道事業に関わる技術者の確保等を目的に水道法施行令等が改正され、水道布設工事監督者等の資格要件が見直されたことに伴い、本市が条例等で定める資格要件についても見直しを行うもの。

(2) 主な改正内容

ア. 布設工事監督者

区分	現行	資格要件として追加された内容
実務経験	水道に関する実務経験	下水道工事等に関する実務経験
学歴及び学科要件	土木工学科（土木科）	機械工学科（機械科）及び電気工学科（電気科）に相当する課程
国家資格	技術士（上下水道部門） 2次試験合格	土木施工管理技士1級技術検定合格

イ. 水道技術管理者

区分	現行	資格要件として追加された内容
学歴及び学科要件	土木工学科（土木科）	機械工学科（機械科）及び電気工学科（電気科）に相当する課程
国家資格	—	技術士（上下水道部門）2次試験合格 土木施工管理技士1級技術検定合格

(3) 施行期日 令和7年4月1日